

五十嵐暖インターハイ優勝

学道一如

発行 小樽双葉高校
生徒会通信
2024年2月14日
第63号

男子回転で5位から逆転

10日、インターハイ(富山) 男子回転で五十嵐暖くん(1-4)は落ち着いたレース運びで1回目5位から逆転優勝を果たした。「自分の滑りができて良かった。1位を取れた瞬間がとてもうれしかった」と喜んだ。11日、女子回転では田野双葉さん(1-3)が5位に入賞した。

男子スキー部員、後列右から玉川監督、五十嵐くん



五十嵐くんは北海道新聞の取材に次のように答えた。

「1回目は緊張もあり、ターンのタイミングがずれた。待ち時間を練習の時間に充て、不安定だった緩斜面での修正点を確認。さらに湿度が多く滑りにくい雪質に苦戦し、10位に終わった8日の大回転での反省も生かし、2回目は攻めの滑りで勝利をもぎとった。」

これまで、ジュニア五輪カップ回転優勝(昨年3月)など輝かしい成績を残してきた。厳しい環境で強くなりたいと、山形県から本校に進学した。

同じく一年時に優勝した北京五輪代表の小山陽平選手に続いてほしいという期待が高まる。

玉川監督は「ポテンシャルはある。ここを通過点に世界に羽ばたいてほしい」と語る。

実践練習だけではなく基本練習を反復し、着実に力を付けている。「高校選抜大会では自分の滑りで優勝を狙いたい」とさらなる高みを目指す。



中央が五十嵐暖くん

冷静に整えた

1本目はコースのポールセットが難しく、ゴールできるかなと不安になり、緊張してしまい、上からタイミングをあわせれずに、やるべきことができずゴールしてしまいました。

2本目は1位の選手と0.7と大きなタイム差があったので、思いっきり攻めよう！1位までのジャンプアップを目指そう！と思い、自信をもってスタートを切りました。1位が決まった瞬間は本当にうれしかったです。(五十嵐暖くんの談話)

GSの悔しさ、思い切り攻めた女子回転5位 田野双葉

中1のジュニアオリンピックでは大回転で2位に入賞した経験もある田野双葉さんだが、高校のレベルの高さに苦戦している。大回転では12位、入賞できなかった悔しさを回転にぶつけた。



1本目は11位だったが、2本目は思い切った。高校選抜では両方で表彰台を目指す。



中央が田野双葉さん(1-3)

クラスメイトも横断幕で祝福
小島尚真くんは五十嵐君の朗報を聞き、自宅で横断幕を作り、教室の廊下に貼って祝福した。続く大会でも健闘を祈る！



左から五十嵐暖くん、担任の小林正人先生、小島尚真くん